

発行日：2023年3月 発行元：海南吸入指導スキルアップ研究会

研究会メンバーの保険薬局薬剤師に、吸入指導依頼書を受け取ったときの対応についてまとめてもらいました。このおたよりが皆様の指導のお役に立てば幸いです。今後も役立つ情報をお届けできるよう、裏面のアンケートにご協力をお願いいたします。

## ～初めての吸入指導依頼書～

1

処方箋+吸入指導依頼書+吸入指導報告書を  
ホッチキスで留めた状態で患者様が持参されました

## 吸入指導報告書【保険薬局記入用】

- \* 記入後はこの用紙を海南病院へFAX(0567-67-3697)をしてください
- \* 吸入困難、デバイス変更依頼などがあれば、すぐに医師へ連絡をしてください。

患者ID：  
生年月日： 海南病院  
患者氏名： 指導日：  
指導薬剤： 薬局名/連絡先：

初めての吸入指導時  
他の薬剤師はどうやって  
指導しているのだろうか？



2

まずは、処方薬のデバイスを  
吸入できる力があるか確認が必要



方法1：インチェックで確認  
卸より購入可能。各デバイスのダイヤルに  
合わせて患者さんに吸ってもらっただけで、  
吸入可能な力があるかが一目でわかる。

方法2：メーカー提供のトレーナーで確認  
各メーカーにて無料で提供あり。  
吸入時の音が鳴れば吸入可。  
ブリーズハラーはカプセルの音と味（甘味）で吸入確認。  
(エアゾール・エアロスフィアは吸気流速確認不要)

3

## 吸入不可時は疑義照会

吸入可能な他のデバイスをインチェックまたは  
トレーナーで事前に確認し、現在の処方薬を吸入する力が  
ないことを伝えてデバイス変更を医師に相談をする。  
(疑義照会は代表番号に電話で行う)

4

## 吸入可能なデバイスが決まったら手技確認の準備



- \* 海南病院HP→診療科→薬剤部  
→保険薬局の皆様へ→チェックリスト
- \* 実薬と同様に動かせるデモ器

5

吸入指導時は患者さんと  
隣り合って指導を！！

※同じ向きの方がわかりやすい



## 吸入指導

(詳しくは吸入指導マニュアル参照)

- ①吸入薬の薬効・利点・定期吸入の必要性
- ②吸入する時間・吸入回数の確認
- ③デモ機を薬剤師・患者さん両方で持ち、  
資料を見ながら操作確認・残数の確認
- ④操作が問題なければ、本日分として**実薬を吸入**

6

## 補助器具

(詳しくは  
吸入指導マニュアル参照)

- \* エアゾール同調が難しい時：  
エアロチャンバーの購入を勧める
- \* 握力・手指の障害あり：  
メーカー提供の補助機を渡す

7

## 吸入指導報告書提出

実際に患者さんに吸入してどうだったかを記載して、  
海南病院にFAXする。

吸入指導加算：3ヶ月に1回まで30点  
(新たな吸入剤での指導時なら3ヶ月以内での算定可)

## ～症例紹介～

依頼書： あり なし  
 指導目的： 初回指導 ロデバイス変更 ロアドヒアランス確認 手技確認 その他 ( )

《吸入薬使用可否の判断》 ※いずれかに必ず回答してください。  
問題なく使用可能 何度が確認すれば、何とか自分で吸入可能 スパーサーがあれば吸入可能  
介助があれば吸入可能 → 介助者： ( )  
ロデバイスの変更があれば吸入可能  
手技獲得困難 → 処方医へ帰属照会  
生活に支障のある副作用の発現あり

《判断理由》 ※いずれかに必ず回答してください。 ※インチェックは指導ロデバイスの種類に合わせて選択してください。  
インチェックで吸気流速が ( ) L/min 製薬会社のトレーナーで問題がない  
実薬の吸入で吸い残しやエアアー・ミスト漏れがない その他 ( )

《指導内容》 ※いずれかに必ず回答してください。  
 ～共通項目～  
効果・利点 用法・用量 手技・手順 吸入以上の場合の説明 吸入後のうがい  
使用可能回数、残量の確認方法 保管・廃棄  
 ～エアゾールの場合～  
オープンマウス法 クロストマウス法  
 ～スパーサー使用の場合～  
 使用したスパーサー： エアロチャンパー（マウスピース） エアロチャンパー（小児用マスク）  
エアロチャンパー（大人用マスク） その他 ( )  
 スパーサーの指導内容： 使用方法の説明 洗浄方法 交換の目安

《その他の報告》  
 観察： なし あり → 残 ( ) キット  
 患者の訴え： なし  
咳声 口渇 呼吸困難感 動悸 排尿困難 その他 ( )

《コメント》  
 最初回してからキャップを開けるなど、手順に不安がありましたが練習により改善。同調に関しては1回目から問題ありませんでした。薬局上では問題ありませんでしたが、帰宅後に分からなくなりそうなので、薬袋に手順を記入してお渡ししました。

【患者背景】80代男性  
 CPFE（気腫合併肺線維症）疑いに対して、  
 スピオルトレスピマット導入のため吸入指導依頼書発行

【薬剤師による吸入手技判断】  
 問題なく使用可能

【判断理由】  
 実薬の吸入で吸い残しやエアアー・ミスト漏れがない

【コメント】  
 最初回してからキャップを開けるなど、手順に不安がありましたが練習により改善。同調に関しては1回目から問題ありませんでした。薬局上では問題ありませんでしたが、帰宅後に分からなくなりそうなので、薬袋に手順を記入してお渡ししました。



指導中は上手く吸入できていたのに、翌日にいざ自分で実践すると、手順を忘れてしまっていたり、上手く吸入できなくなってしまう患者さんも多くいらっしゃいます。  
 今回の症例では、帰宅後も正しく吸入出来るような工夫をしていただきました。手順を確認しながら吸入できれば患者さんも安心ですね。  
 ご報告ありがとうございました。

### 体験談募集中！！

皆さん、吸入指導で経験した珍しい出来事はありますか？  
 教えていただける方は、アンケートに記入をお願いします。

下記のいずれかの方法で回答をお願いいたします。

- ・本紙に記入してFAX送信：0567-66-1151（海南病院）
- ・Googleフォームで回答：下記のQRコード

## ～アンケート～

① 今回の記事でよかった、ためになったと感じたことをご記入ください。

回答受付2023年4月30日まで

② 吸入指導を行う中で、困っていることや疑問に思っていることがありましたらご記入ください。

③ その他、ご意見やご感想などをご自由にお書きください。

\*吸入指導のエピソードもあれば、こちらにできるだけ詳細に記入してください。

最後に、差し支えなければ、施設・店舗名・氏名・連絡先（施設の連絡先でも可）をご記入ください。

\*吸入指導のエピソードについて、掲載の確認をさせていただく場合があります。

施設・店舗名 ( ) ご氏名 ( )

メールアドレス ( )

ご協力ありがとうございました。次回もお楽しみに！！

